

茨城大学工学部後援会会報

平成 23 年 3 月 第 39 号

ご 挨 拶

後援会会長 臼 井 敏 雄

会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

本会は茨城大学工学部の運営や学生の教育・生活等の支援を目的に活動をしておりますが、会員の皆様のご理解とご支援によりましてお陰さまで順調に運営されておりますことに心からお礼申し上げます。

さて、昨年このコラムでリーマンショック以降就職戦線が大変厳しくなってきたことを申し上げましたが、1年後の現状も改善されたと言える状況にはなく、むしろ更に厳しさが増していると感じております。「就活」という言葉が生まれてマスコミでもしばしば取り上げられていることは皆様ご承知の通りであります。3年生から就職活動をしなければならないとは大変お気の毒に感じますが、学生の皆さんにはひるまず挑んで行ってほしいと願っておりますし、われわれ後援会としても出来る限りの支援をしてまいりたいと思います。

最近日本の地盤沈下が話題になることが多くなりました。先日米国の大学への留学生の数が報道されましたが、首位の中国が2年前に比べて30%増であるのに対して、日本は15%減で6位でした。人口が日本の半分以下の韓国にも水をあけられている状況です。15年前には日本は首位であったことを考えると隔世の感があります。やはり内向き志向が進んでいるのでしょうか。本学の学生の皆さんにはぜひ広い視野と前向き思考を身に付けていただき、世界で活躍できるグローバルな人材を目指していただきたいと思います。

最後になりましたが、本学の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



＜写真は、平成22年度後援会総会＞

ご挨拶

工学部長 友田 陽



工学部後援会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から工学部の教育と研究に多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は平成22年9月1日付けで工学部長に就任しました。浅学非才のため、多種多様な業務に対して有効な対応ができず申し訳なく思っています。幸いなことに、評議員・副学部長（工学部）の米倉教授と馬場教授、副学部長の栗原教授と増澤教授が、きわめて優秀で専門分野もお互いに異なるので良いチームプレーができていると思います。

すべての大学は7年に1回、大学教育機関としての認証を受ける必要があります。本学は、平成21年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の審査を受け、22年3月に「茨城大学は、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」と認証されました。主な

優れた点として評価された7項目の中に「特色GP“確かな学力の向上を目指す理系基礎教育”の実施」と「理工学研究科博士前期課程（工学系）学生の学会等での発表率が高い」があげられています（本学が作成した自己評価書やその審査結果は茨城大学ホームページで閲覧できます）。また、平成22年度から第二期中期目標期間が始まりました。本学の第一期中期目標に対する達成状況は「目標に向かって順調に進んでいる」とまずまずの評価を受けましたがほとんどの大学がそうなので、第二期では一層の努力が必要です。

最近では多様な学生が入学してくるので、教育の質の保証が求められています。教育組織単位（学科）毎に、教育目標、教育内容、達成基準を明確化し、国際レベルの教育が実施されていることを点検するために、外部評価として日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受けることにしています。これまでに、機械工学科、都市システム工学科、電気電子工学科が認定を受け、他の学科も受審準備を進めています。e-Learningによる基礎科目や外国語教育の自習を奨励する機器や教材の導入も進めています。大学で身につけるべきことのひとつに、「自ら学んで習得する」学習方法があると思います。学生には新しいことに果敢にチャレンジするための基礎力と応用力を身につけてもらいたいと願っています。

多くの企業で学部卒よりも大学院卒（修士）を採用する傾向が強まり、進学率が高くなってきました。そこで、博士前期（修士）課程では、6年一貫教育カリキュラムを整備して教育効率を上げると同時に、専攻横断型の教育プログラムを用意して副専攻的に履修してもらうことを構想し、現在、大学院の改組を文部科学省と相談しています。横断型プログラムは博士後期課程の専攻に引き継ぎ、研究者のみでなく企業で活躍できる高度専門技術者の養成に力を入れたいと思います。

地方大学において、国際的に注目される研究拠点を持つことは、国内外から優秀な学生を集めるために必須です。教員の研究組織化を進め大型外部資金を獲得し、産官学民金（市民・金融）連携による地域に根ざした研究活動を促進したいと思っています。卒業生（同窓会）の方々に、いろいろと助けていただけるのがありがたいことです。

最後に、大学の主役は何と言っても学生です。学生が勉学研究に集中し、快適な生活が送れるようにしたいと思っています。やっと教室・事務棟が改修され、キャンパス整備も進んできました。学生も教職員もモラルを高め環境美化に努めたいと思います。多感な青年時代の心身の健康促進は大切であり、保護者の皆様と教職員の連絡を密にして対応したいと思います。今後とも後援会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会務報告

平成22年2月～3月
平成22年5月18日
平成22年6月20日

平成23年3月

平成22年度入学試験合格者に対し、入学手続時に後援会加入案内状を配布
工学部会議室において平成21年度収支決算の会計監査
工学部会議室において理事会を開催後、工学部100番教室・E5棟8階イノベーションルームにおいて後援会総会を開催 会員の出席350名
平成22年度役員、平成21年度決算及び平成22年度予算が承認される
後援会会報第39号発行

平成21年度 収支決算書

収入の部

項	目	予算額(円)	決算額(円)	差引過△不足額(円)	摘 要
前年度繰越額		213,833	213,833	0	
	前年度繰越金	213,833	213,833	0	
会費		6,993,000	6,955,000	△ 38,000	学部 12,000円×500名=6,000,000円
	会費	6,993,000	6,955,000	△ 38,000	大学院 5,000円×191名= 955,000円
雑収入		3,167	571	△ 2,596	
	雑収入	3,167	571	△ 2,596	預金利息
合 計		7,210,000	7,169,404	△ 40,596	

支出の部

項	目	予算額(円)	決算額(円)	差引過△不足額(円)	摘 要
運営費		1,460,000	1,456,161	3,839	
	会議費	150,000	151,910	△ 1,910	理事会、総会経費
	事務費	1,310,000	1,304,251	5,749	通信費、印刷費、役務費、振替手数料等
事業費		5,550,000	5,513,138	36,862	
	課外活動助成費	1,000,000	1,000,000	0	サークル活動助成
	就職斡旋助成費	795,000	798,022	△ 3,022	旅費、パンフレット、講演会謝金
	教育研究調査助成費	400,000	400,815	△ 815	調査旅費
	学生医療助成費	750,000	769,283	△ 19,283	医薬品補助、健康診断経費
	学校行事助成費	500,000	500,000	0	学園祭助成
	学部拡充促進費	800,000	729,395	70,605	国際交流助成経費等、環境整備
	学部運営助成費	125,000	128,800	△ 3,800	学部運営助成経費
	図書購入助成費	1,080,000	1,092,253	△ 12,253	学生参考図書
	雑費	100,000	94,570	5,430	諸負担金等
予備費		200,000	0	200,000	
	予備費	200,000	0	200,000	
合 計		7,210,000	6,969,299	240,701	

※平成22年度へ繰越 200,105円 (7,169,404円-6,969,299円)

上記収支決算書は、監査の結果誤りのないことを認めます。

平成22年 5 月 18日

監 事

藤 田 憲 司



須 藤 俊 幸



平成22年度予算 (案)

収入の部

項	目	平成21年度 予算額(円)	平成22年度 予算額(円)	比較増△減	摘 要
前年度 繰越額		213,833	200,105	△ 13,728	
	前 年 度 繰 越 金	213,833	200,105	△ 13,728	
会 費		6,993,000	6,655,000	△ 338,000	学 部 12,000円×465名=5,580,000円
	会 費	6,993,000	6,655,000	△ 338,000	大学院 5,000円×215名=1,075,000円
雑収入		3,167	895	△ 2,272	
	雑 収 入	3,167	895	△ 2,272	預金利息
合 計		7,210,000	6,856,000	△ 354,000	

支出の部

項	目	平成21年度 予算額(円)	平成22年度 予算額(円)	比較増△減	摘 要
運営費		1,460,000	1,406,000	△ 54,000	
	会 議 費	150,000	146,000	△ 4,000	理事会、総会経費
	事 務 費	1,310,000	1,260,000	△ 50,000	通信費、印刷費、役務費、振替手数料等
事業費		5,550,000	5,250,000	△ 300,000	
	課 外 活 動 助 成 費	1,000,000	950,000	△ 50,000	サークル活動助成
	就 職 幹 旋 助 成 費	795,000	795,000	0	通信費、旅費、就職の手引き
	教育研究調査助成費	400,000	350,000	△ 50,000	調査旅費
	学 生 医 療 助 成 費	750,000	700,000	△ 50,000	医薬品補助、健康診断経費、 メンタルケア手引書
	学 校 行 事 助 成 費	500,000	450,000	△ 50,000	学園祭
	学 部 拡 充 促 進 費	800,000	750,000	△ 50,000	教育研究活動助成経費、広報活動助成経費 国際交流助成経費等
	学 部 運 営 助 成 費	125,000	125,000	0	学部運営助成経費
	図 書 購 入 助 成 費	1,080,000	1,080,000	0	学生参考図書等
	雑 費	100,000	50,000	△ 50,000	諸負担金等
予備費		200,000	200,000	0	
	予 備 費	200,000	200,000	0	
合 計		7,210,000	6,856,000	△ 354,000	

平成22年度卒業・修了予定者就職情報

機械工学科、機械工学専攻（大学院）

平成22年度（平成23年3月卒業）の機械工学科卒業予定者は110名である。その内訳は、企業等の就職希望で内定した者35名、地方公務員志望者1名、茨城大学大学院博士前期課程機械工学専攻進学予定者50名、他大学院進学予定者6名（東北大学大学院（4名）、東京工業大学大学院（1名）、筑波大学大学院（1名））、2名が休学、16名が就職活動中である。この時期でも就職希望者の約3割前後の学生が活動中というきびしい状況が続いている。一方、大学院博士前期課程修了予定者は43名で、内訳は就職希望で内定した者30名、茨城大学大学院博士後期課程進学者2名、その他11名が活動中である。学生の就職活動としては、学部学生の場合、推薦と自由応募の割合はほぼ1：1であり、前年度とほぼ同程度の割合である。一方、内定者の割合は4：3となっている。これは、はじめに自由応募で活動していたが、内定を得られない状況が続いて最後には推薦応募に切り替えるというパターンの学生がいるためである。一方、大学院博士前期課程の場合、最終的に推薦と自由応募の比はほぼ3：1と圧倒的に推薦が多くなり、前年度と同じ傾向である。なお、大学院博士後期課程に対しては、企業側の慎重な姿勢が感じられ、他の大学院でも同様かと考えている。

日本経済は、2008年9月のリーマンショックによる世界同時不況の回復途上にあるといわれているが、求人数は前年度の8割程度であり、求人状況には一向に回復の兆しが見えない。特に大企業の多くは、前年よりも控えめな求人数を提示している。求人書類は、まず郵送等により送付されるものが多く、早い企業では前年10月中旬から送られる。そして、4月に一斉に就職試験が始まると同時に求人が減る傾向にある。しかし、今年に限っては、7～10月頃にも中小企業からの求人があり、内定を得られない学生に対して採用の意欲を見せている企業がある。しかし、残念ながらこの求人に対して学生の反応が鈍く、採用側と学生のいわゆるミスマッチ現象が生じている。求人のタイプとしては、企業の人事担当者が直接来校して就職担当者に面会した企業、書類送付やメールによる企業、追加募集として2回以上書類を送ってきた企業、再度来校した企業も多数あった。なお、既に多くの企業が平成24年度（平成24年3月卒業・修了）向けの学部・大学院学生の募集を始めている。

学科内における就職支援の一環として、3月に2回に分けて会社説明会を開催した。また、学部4年生と大学院2年生に限定した就職進学情報をホームページに示し（受付番号、受付日、企業名、求人情報の概略、来学の有無、求人票など）、同時に、機械工学科棟4階会議室に各企業の求人書類一式を封筒に入れて番号をつけ、自由に閲覧できるように開示している。また、ホームページには、推薦状況や内定状況も掲載し、来校した求人側の採用意欲などの情報も掲載した。就職担当への相談や質問・報告は、面談・電子メール・携帯電話等で随時行った。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【機 械 工 学 科】				【機 械 工 学 専 攻】			
茨城大学大学院	46 (2)	㈱ジェイアール東日本メカトロサービス	1	三菱原子燃料(株)	2	日本精工(株)	1
筑波大学大学院	2	㈱太平エンジニアリング	1	トヨタ自動車(株)	1	㈱森村設計	1 (1)
東京工業大学大学院	2	㈱マルハン	1	本田技研工業(株)	1	㈱ジェイ・エム・エス	1
東京大学大学院	1	小森コーポレーション(株)	1	富士重工(株)	1	㈱中村自工	1
東京電機大学大学院	1、	福島キヤノン(株)	1	三菱重工(株)	1	㈱菱友システムズ	1
東北大学大学院	1	日本原燃(株)	1	いすゞ自動車(株)	1	千代田メンテナンス(株)	1
東日本旅客鉄道(株)	2	日本航空電子工業(株)	1	マツダ(株)	1	新潟交通機械(株)	1
日立水戸エンジニアリング(株)	2	日立電線メクテック(株)	1	東京電力(株)	1	赤城食品(株)	1
(独)日本原子力研究開発機構	1	原電事業(株)	1	日立電線(株)	1	その他	2 (1)
東京電力(株)	1	富士油圧精機(株)	1	日立電線エンジニアリング・アソシエーツ(株)	1		
本田技研工業(株)	1	創販(株)	1	日立水戸エンジニアリング(株)	1		
キヤノン(株)	1	S M C(株)	1	出光興産(株)	1		
㈱日立エンジニアリング・アソシエーツ	1	大森機械工業(株)	1	花王(株)	1		
キヤノンモールド(株)	1	㈱大貫工業所	1	㈱I H I	1		
㈱日立メディコ	1	警視庁	1	㈱沖データ	1		
三菱電機(株)	1	その他	7 (2)	森永製菓(株)	1		
東芝プラントシステム(株)	1			(独)東京都立産業技術研究センター	1		
㈱吉野工業所	1			J F E スチール(株)	1		
アイ・イー・シー(株)	1			㈱原子燃料工業	1		
㈱エフ・シー・シー	1			㈱日本ボイラ協会	1		
		計	91 (4)			計	31 (2)

() は、女子で内数

生体分子機能工学科

生体分子機能工学科「入学定員60名」は、生命のもつ複雑な機能を分子レベルで解き明かし、さまざまな産業分野に応用することのできる研究者・技術者の育成を目指し、平成17年に新たに設置された学科で、本年度は3回目の卒業生を送り出すことになる。今年度の卒業予定者58名（男子42名、女子16名）の内、34名が大学院への進学を希望しており、23名（男子15名、女子8名）が就職を希望している（11月末の集計）。現在の就職内定者は18名であり、内定率は78%となっている。就職未定者は5名となっており就職活動が続いている。化学関連会社を中心に、様々な分野の企業から、151社と決して少なくない求人があり、学科においても9社の会社説明会を開催した。また、追加募集件数もかなりあった。しかしながら、企業は優秀な人材の確保に向け厳選した人選をおこなっている印象を受けた。学生も就職状況が極めて厳しい事を受け、例年と比べて多くの学校推薦希望者（5名）がいた。当初から就職を希望して活動を行っていた学生は、ほぼ全員が就職を決めているが、進路に迷って就職活動に専念できなかった学生は、厳しい就職状況に直面してしまっている。一方、大学院への進学を希望した34名の内、25名（他大学院が4名）の進学先が決まっている。進学先が未定の学生は2次募集入試で合格を期することとなる。

日本・世界経済の明るい見通しは立っておらず、不安定な状態が続くと思われる。来年度の就職状況は本年度に増して厳しい状況も予想される。進路を早期に見定め、目標に向かって着実に前進することが重要であると考え。

マテリアル工学科

マテリアル工学科（入学定員35名）は、平成17（2005）年の国立大学独立法人化を契機に、物質工学科の材料系を改名して設けられた。本年度送り出すのは第3回目の卒業生である。今年度のクラス在籍は43名で卒研着手者は34名（79%）である。過年度生は29名（内3名は旧物質工学科生）で、この内12名が卒研に着手している。卒業予定者46名の進路において、大学院進学希望者は29名（63%）であり、内21名は推薦選抜もしくは一般選抜で合格し進学先が決定している。残りの8名は2次募集を受験する予定である。就職希望者は17名（37%）であり、内15名は内定している。本年度の大学卒業予定者の平均就職率はリーマンショック以降、景気の低迷のため著しく低くなっているが、皆様のご支援と学生の努力により、高い就職率となった。各研究室の教職員による個別の就職指導が効果があると思われる。今年度の求人状況は160件ほどで前年度とほとんど変わらず、25社の採用担当者訪問があった。業種は例年と変わらず、金属関係、機械関係、電気・電子・半導体関係が多い。大学院進学希望者の割合は、昨年度の55%から63%に順調に増加した。

物質工学専攻（大学院）

本年度の大学院修了者は32名である。31名が就職希望者で、全員進路が決定している。本年度の就職活動は前年度の秋から始まり、夏くらいまでに進路が決定するような長期化が進んでいる。また、例年通り自由応募の志向が強い。今年度から生体分子機能コースとマテリアル工学コースに分かれた初めての就職活動となった。リーマンショック以降のデフレによる求人状況の悪化がますます顕著となっているが、研究、教育活動の領域を広げて、活発な就職状況を期待したい。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》				《学部》				《博士前期課程》			
企業名 及び進路先	人数	企業名 及び進路先	人数	企業名 及び進路先	人数	企業名 及び進路先	人数	企業名 及び進路先	人数	企業名 及び進路先	人数
【生体分子機能工学科】				【マテリアル工学科】				【物質工学専攻】			
茨城大学大学院	29 (5)	(株)日本データコントロール	1 (1)	茨城大学大学院	21 (2)	(独)日本原子力研究開発機構	2	日鉄防蝕(株)			1
筑波大学大学院	3 (2)	(株)スペース・タイム	1	東北大学大学院	1	昭和電機ホールディングス(株)	2	日本設備工業(株)			1
東京医科歯科大学大学院	2 (2)	岐阜県警察	1	東京工業大学大学院	1	(株)NTTデータ	1	ボッシュ・レックスロス(株)			1
横浜市立大学大学院	1	自衛官	1	上越教育大学大学院	1	(株)岡村製作所	1 (1)	三菱原子燃料(株)			1
東京工業大学大学院	1	その他	5 (1)	サンエツ金属(株)	2	JFE鋼板(株)	1	千葉県庁			1
横浜市立大学大学院	1 (1)			東電環境エンジニアリング(株)	1	キャノン化成(株)	1	その他			2
茨城大学研究生	1			アイ・イー・シー(株)	1	(株)SUMCO	1				
(株)日立製作所	1 (1)			住友金属テクノロジー(株)	1	(株)TDK	1				
三菱製紙(株)	1			日立設備エンジニアリング(株)	1	住金大径鋼管(株)	1				
森永乳業(株)	1			アドバンスフィルム デバイスインク(株)	1 (1)	住友金属テクノロジー(株)	1 (1)				
茨城日立情報サービス(株)	1			(株)サンソウシステムズ	1	国立大学法人東北大学	1				
(株)日立情報制御ソリューションズ	1 (1)			(株)白崎グリーンナップ	1	(株)金星	1 (1)				
(株)筑波銀行	1 (1)			東洋ガラス(株)	1	(株)倉本産業	1 (1)				
三京化成(株)	1			松田産業(株)	1	(株)五味八珍	1				
サンエツ金属(株)	1 (1)			(有)イーエスエス	1	(株)潤工社	1				
田中産業(株)	1 (1)			(株)埼玉英スクール	1	(株)総合環境分析	1				
日新製糖(株)	1			(株)学光社	1	(株)メイコー	1				
(株)アマダ	1 (1)			中部管区警察局	1	神東塗料(株)	1				
日拓リアルエステート(株)	1 (1)			青森市役所	1	朝日工業(株)	1				
神東塗料(株)	1			その他	1	太陽誘電(株)	1				
第一生命保険相互会社	1 (1)					日清エンジニアリング(株)	1				
			計 61 (20)				計 41 (3)				計 30 (4)

() は、女子で内数

電気電子工学科、電気電子工学専攻（大学院）

平成23年度3月の学部卒業予定者は75名で、その内進学希望者は36名が他大学大学院を含め大学院に進学が確定し（本学専攻である電気電子専攻合格34名、及び応用粒子線2名合格）、11月現在で3名が他専攻あるいは他大学院進学を目指している。残りの36名のうち進学並びに就職の意思なしの1名を除き就職希望であり現在既に31名の企業等への内定を確定している。残りのうち2名は公務員あるいは教員希望のため進路確定に至っていない状況である。11月現在就職未定者は2名である。一方、大学院修了予定者は24名で、全員民間企業への就職が内定している。

求人企業数は11月現在で455社、そのうち直接大学まで求人に出向いてきた会社数はほぼ100社で最も多い時期と比較すると4割減少である。本年の求人の出方は2月がピークとなり、ほぼ有力企業は4月までに出そろっているが、求人数を確定していないなど確定時期が後ろにずれこんだ企業もみられた一方、3月中にエントリーの申し込みを締め切ってしまう企業もあり求人様相は様々であった。

電気電子系の学生を対象に活発な求人活動を行っている業種で、割合内定の出やすい企業としては設計設備関連の企業が挙げられる。

一方、リーマン・ショックの金融危機が与えたソフト業界の影響は非常に大きいようで、有名企業名を冠するソフト企業での内定状況は非常に厳しい。また従来は内定の取れやすいと考えていた日立系列の企業・原子力関連企業における状況もいつになく難しい結果となった。

本学科（専攻）では前年の11月18日に第一回の就職説明会を開催し同年12月に一回目の希望調査を行い、本年3月9、10日の両日、電気電子工学科並びにメディア通信工学科との合同会社説明会を開催し、その後最終の希望調査を実施、学校推薦の調整を行い、4月初めに推薦状の発行を行った。

ご父兄の方にも理解しておいて欲しいご子息ご令嬢の就職相談に乗る際の注意点を最後に述べておきます。まずは、大企業を狙って推薦応募で何度も同規模の大会社を応募する学生が少なからず居ます。

そのような学生は会社の要求する能力が自分のそれとマッチングが取れるか否か早急に判断できる手段を見出して欲しいこと。方法としては大企業のみでなく中小企業にも目を向けることです。必ずマッチングする会社に出会うはずで。さらに推薦応募というのは4月から5月中旬までの短期間に有効な手段であることを肝に銘じてください。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【電 気 電 子 工 学 科】				【電 気 電 子 工 学 専 攻】			
茨城大学大学院	38	アロカ㈱	1	東京大学博士後期課程	1		
東京工業大学大学院	2	㈱しんきん情報サービス	1	日立アプライアンス㈱	2		
電気通信大学大学院	1	㈱トヨタデジタルクルーズ	1	㈱日立製作所	1		
東京大学大学院	1	㈱アイエイアイ	1	㈱東芝	1		
茨城大学研究生	2	㈱アサイン	1	日立水戸エンジニアリング㈱	1		
アルプス電気㈱	3	㈱アトックス	1	東京電力㈱	1		
㈱茨城計算センター	2	㈱毎日映像音響システム	1	東北電力㈱	1		
日立水戸エンジニアリング㈱	2	㈱山武	1	本田技研工業㈱	1		
㈱日立製作所	1	㈱ユー・ドム	1	日本鉄道電気設計㈱	1		
日立ソフトウェアエンジニアリング㈱	1	川北電気工業㈱	1	住友金属工業㈱	1		
㈱日立エンジニアリング・デパート・サービス	1 (1)	高周波熱錬㈱	1	中央電気工業㈱	1		
㈱日立情報制御ソリューションズ	1	㈱関東電気保安協会	1	日本原子力発電㈱	1		
東京電力㈱	1 (1)	ソラン東北㈱	1	(有)テクノエーピー	1		
東海旅客鉄道㈱	1	㈱ブレーン	1	ノバシステムズジャパン合同会社	1		
住金大径鋼管㈱	1	佐川急便㈱	1	㈱エス・ケー・アイ	1		
富士通特機システム㈱	1	その他	1	ソニーエナジー・デバイス㈱	1		
北陸電気工業㈱	1			パナソニックシステムネットワークスマレーシア㈱	1		
アルファナテクノロジー㈱	1			その他	1		
㈱関電工	1						
㈱NTT-ME	1						
		計	79 (2)			計	19

() は、女子で内数

メディア通信工学科、メディア通信工学専攻

平成21年度に引き続き、今年度（22年度）も厳しい内定状況となっている。過去、経済の景気変動に応じて、就職が狭き門となった年は何回もあったが、昨年、今年の傾向から企業の採用活動が質的に変化している事が伺える。大企業では、応募者が殺到するため早々に採用予定数を満たし、4月中／下旬には求人の方を閉じてしまっている。さらに外国人採用も広がり、日本人学生にとって競争状況が一段と厳しくなっている。中規模企業でも応募者が数十倍となるともあり、従来比較的楽に内定を獲得できたところでも厳しさが増している。大学院修了者が有利な点は従来通りであるが、学部卒でも有名企業から早い時期に内定を獲得している学生もあり、企業研究の優劣がますます重要な要素となっている。基礎学力の修得とともに企業研究をしっかりと行ない、就職後どの部門でどのように活動し、企業に貢献できるかを論理立てて説明できる力を示す事が、従来以上に求められるようになっている。

平成23年3月学部卒業予定者は平成22年11月末時点で、69名（昨年より13名増）。内訳は大学院進学希望者38人（茨大院23名、他大4名、未定11名）、就職希望者27名（昨年より11名増、内定21名、未定6名）、その他4名である。大学院進学希望者数は昨年とほぼ同数であるが、このうち約30%が2次試験待ちという状況である。大学院修了予定者は18名（昨年より3名減）で、全員就職希望である。現在15名が内定しているが、未定者も3名おり、大学院に行けば就職は何とかなるは、もはや通用しない時代となっている。

メディア通信工学科では平成12年3月最初の卒業生を送り出してちょうど10年が経つ。企業の中核となって活躍している先輩諸氏とも協力し、日頃の教育活動を通し、企業貢献意識に目覚めた学生の育成に努力することが一層重要と考える。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【メディア通信工学科】				【メディア通信工学専攻】			
茨城大学大学院	34			九州大学博士後期課程	1		
首都大学東京大学院	1			㈱東芝	1		
新潟大学大学院	1			KDDI㈱	1		
パフォーミングアーツカレッジヒューマンアカデミー	1			東海旅客鉄道㈱	1		
東京電力㈱	1			㈱フジクラ	1		
日立公共システムサービス㈱	1			㈱NTTデータ	1		
芝浦メカトロニクス㈱	1 (1)			スズキ㈱	1		
沖電グローバルシステムズ㈱	1			大日本印刷㈱	1		
㈱コミュニチュア	1			ミツミ電機㈱	1		
㈱ジャパン・サービス	1			日本コムシス㈱	1		
㈱ダイマジック	1 (1)			日本無線㈱	1		
㈱ビー・エス・アイ	1			(独)日本原子力研究開発機構	1		
常磐システムエンジニアリング㈱	1			オリエンタルモーター㈱	1 (1)		
フォスター電機㈱	1 (1)			㈱日本AEパワーシステムズ	1		
富士ソフト㈱	1			㈱日立アドバンストデジタル	1 (1)		
富士通フロンテック㈱	1			㈱平和情報センター	1		
三波工業㈱	1			㈱毎日映像音響システム	1		
その他	3 (1)			三菱電機エンジニアリング㈱	1		
				長野市役所	1		
計		53 (4)		計		19 (2)	

() は、女子で内数

情報工学科、情報工学専攻

今年度の学部卒業予定者は66名（内1名は9月卒業）で、進学・就職の内訳（10月末の状況）を次に示す。進学予定者は26名（茨城大学大学院博士前期課程進学予定者25名、奈良先端科学技術大学院大学進学予定者1名）、就職内定者は27名である。

大学院修了予定者は31名で、進学・就職の内訳（10月末の状況）を次に示す。進学予定者はなく、就職内定者は24名、留学生帰国予定者は1名である。

求人企業の内訳（10月末の状況）は、学科への直接来訪が56社（昨年度47社）、学科宛の求人票送付が166社（昨年度183社）で、合計222社（昨年度230社）からの求人があった。学科への直接来訪の会社は、一昨年度の92社に比べて昨年度と同様に減ったままである。これは、経費削減のためか、求人活動をインターネット経由で行なう会社が増えたためと思われる。

昨年度と同様に、今年度の就職活動は難航することが予想された。早い学生は4月中に内定が出たが、学校推薦応募でもなかなか内定が得られない学生もあり、かなり苦労している。また、夏休み頃には、実質的な採用が終了していたようで、以前は大学院入試後の9月頃でもあった直接来訪の会社が、今年度は8月以降には1社しかなかった。現在の経済状況から見て、来年度の就職活動も今年度と同様かなりの難航が予想される。早くから自由応募での就職活動を始める必要があるかも知れない。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【情報工学科】				【情報工学専攻】			
茨城大学大学院	28 (2)	㈱ニックス	1	茨城大学博士後期課程	2		
筑波大学大学院	1	リコープリンティングシステムズ㈱	1 (1)	茨城日立情報サービス㈱	1		
東京工業大学大学院	1	㈱インフォテックノ朝日	1	㈱日立アドバンストデジタル	1		
大原簿記公務員専門学校	1	アイ・イー・シー㈱	1	㈱日立情報制御ソリューションズ	1		
㈱日立情報制御ソリューションズ	4	㈱コメット	1	日立ソフトウェアエンジニアリング㈱	1		
キヤノン㈱	1	㈱日立エンジニアリング	1	㈱富士通システムソリューションズ	1		
パナソニックソリューションテックロジニ㈱	1	㈱群馬農協計算センター	1	㈱CRCシステムズ	1		
(有)フランドル	1	東京信用金庫	1	㈱ソリトンシステムズ	1		
㈱エクサ	1	協立電機㈱	1	㈱電算	1		
㈱アイ・ティ・フロンティア	1	ソフトウェア情報開発㈱	1	㈱ニューメディア総研	1		
㈱エスピーラボ	1	㈱ケーヨー	1	キヤノンソフトウェア㈱	1		
トライボテックス㈱	1	㈱アルプス技研	1	コムシス情報システム㈱	1		
ウチダエスコ㈱	1	㈱エス・ケー・アイ	1	日本コンピュータダイナミクス㈱	1		
㈱ブロードネットマックス	1	その他	3	日本情報通信コンサルティング㈱	1		
㈱セコニック	1			農中情報システム㈱	1		
㈱茨城計算センター	1			その他	2 (1)		
㈱ケーズホールディングス	1						
㈱ユー・ドム	1						
栃木県農協中央会	1						
東洋ソフトウェアエンジニアリング㈱	1						
計 66 (3)				計 18 (1)			

() は、女子で内数

都市システム工学科、都市システム工学専攻

1. 進路指導・就職支援

学部3年生および修士1年生前期に「都市システム工学学外実習（インターンシップ）」、3年生後期に「都市システム工学特別講義」を行い、進路指導（OB説明会、現場見学、傾向と対策等）を行っている。また、3年生希望者は研究室仮配属が可能で、4年次以降の研究室生活や大学院進学など、幅広く進路相談が行われている。基本的にクラス担任が求人情報の案内、就職調査等の就職支援を行うが、具体的な相談や指導に際しては、指導教員とクラス担任の複数体制で行われている。

2. 求人状況

求人数はこの数年よりやや下がり約130社であった。10月頃より求人票およびパンフレット類が届き、OBおよび人事担当者の訪問、会社説明会が2月頃まで開かれる。また、公務員試験、大学院試験と連動してこれらが終了する10月以降、一部の民間企業からの求人もあった。学科推薦を求める企業は約30社であったが、学科推薦の枠で内定に至る学生は10名程度で多くの学生は自由応募で受験する傾向にある。

3. 学生の進路と傾向

修士の学生では、コンサル、建設会社など民間企業を志望する学生が多く、学部生では公務員を志望する学生が（特に近年は）多く、最終的な内定先もそれらを反映する結果となった。特に、修士生の場合は業界大手に就職する学生が多く、OB・OGの活躍、支援の賜物と感謝している。民間企業の場合、1月初旬から書類選考が始まり、5月中旬から6月初旬までに内々定が出されるところが多い。従って、修士生の方が学部生より早く夏休みまでに就職先を決める傾向にある。学部生の場合、大学院進学が全体の4割弱であり、公務員試験と併行しながら受験勉強する学生も少なくなく、市役所等の地方公務員試験が終了する11月末まで、就職活動が続いた。今年度は修士生、学部生とも就職を希望する学生のほぼ全員の就職先が内定している。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【都市システム工学科】				【都市システム工学専攻】			
茨城大学大学院	18 (2)	国土交通省関東地方整備局	1 (1)	㈱建設技術研究所	2		
東日本旅客鉄道㈱	5 (2)	茨城県警察	1	五洋建設㈱	2		
大成ロテック㈱	2	福井県庁	1	東亜建設工業㈱	2		
東海旅客鉄道㈱	2	千葉県庁	1	㈱戸田建設	1		
つくば市役所	2 (1)	東京都職員	1 (1)	東日本旅客鉄道㈱	1		
茨城県庁	2	日立市役所	1	東海旅客鉄道㈱	1		
大豊建設㈱	1	仙台市役所	1	㈱NTTデータCCS	1		
㈱伊藤製鉄所	1 (1)	ひたちなか市役所	1	静岡鉄道㈱	1		
㈱東京鐵骨橋梁	1	古河市役所	1	㈱トーニチコンサルタント	1		
㈱ナカボーテック	1	その他	4	㈱不動テトラ	1		
㈱復建技術コンサルタント	1			㈱マイア	1		
検査開発㈱	1			日鉄環境エンジニアリング㈱	1		
清水建設㈱	1			パシフィックコンサルタンツ㈱	1		
大成建設㈱	1			八千代エンジニアリング㈱	1		
大東建託㈱	1			㈱日水コン	1 (1)		
ファースト・ファシリティーズ㈱	1			日鉄防蝕㈱	1 (1)		
水戸信用金庫	1			茨城県庁	1		
明治乳業㈱	1			神奈川県庁	1		
大和冷機工業㈱	1			島根県職員	1		
東京製綱㈱	1						
計 58 (8)				計 22 (2)			

() は、女子で内数

知能システム工学科、システム工学専攻（大学院）

2007年のサブプライムローン問題・2008年9月のリーマンショックに端を発する金融危機・経済不況の影響は昨年度よりも今年度の方が深刻である。求人のために来学された企業数・送付された求人票の数は、昨年度とほぼ同数であるが、採用枠が軒並み縮小（10%～50%減）している。大学院（知能システム工学専攻）進学内定は、Aコース24名・Bコース14名である。平成22年11月末の時点で就職支援担当教員が把握している。〔就職確定者数／就職希望者数〕は、Aコースが〔22／26〕、Bコースが〔12／16〕、大学院が〔46／50〕である。

就職予定者全員に呼びかけて行なった就職支援活動は以下の通りである。平成22年1月5日（火）に第一回就職（進路）ガイダンスを行ない、厳しい就職動向・求人票と企業パンフレットの掲示方法、学科のホームページでの就職状況の掲載、応募形態について説明した。4月1日（木）に、第二回就職ガイダンスを行ない、学校推薦の手順について説明し、推薦の希望者の調査を開始した。また、例年の行事として、2月12日（金）に知能システム工学科・知能システム工学専攻主催の合同企業説明会を開催した。これは、1月までに面談に来てくださった企業の中から、就職支援グループで選考した18社について、各社5分のプレゼンテーションをしてもらい、その後ブース形式により、企業担当者と学生が自由に話をしようという企画である。参加者は110名を超えた。

来年度に向けて、世界的金融不安と円高が落ち着いて景気が上向きに転じ、製造業をはじめとして採用枠が拡大することを切に願う。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《学部》

《学部》

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【知能システム工学科】		【知能システム工学科 Bコース】		【システム工学専攻】			
茨城大学大学院	35 (1)	茨城大学大学院	18 (1)	茨城大学研究生	1	㈱システムデザイン	1
東京工業大学大学院	1	北陸先端科学技術大学院大学	1	㈱日立製作所	2	㈱ジェイテクト	1
北陸先端科学技術大学院大学	1	㈱日立情報制御ソリューションズ	2	トヨタ自動車㈱	1	㈱サイバーテック	1
オリジン電気㈱	1	東日本旅客鉄道㈱	1	東日本旅客鉄道㈱	1	㈱アルトナー	1
茨城県信用組合	1	日立水戸エンジニアリング㈱	1	テルモ㈱	1	サイバーコム㈱	1
郵便事業㈱	1	㈱ルネサステクノロジ	1	㈱森精機製作所	1	K P E ㈱	1
ネットワークサービスアンドテクノロジー㈱	1 (1)	S M C ㈱	1	㈱日立ハイテクマニファクチャ&サービス	1 (1)	土浦市役所	1
㈱タマディック	1	㈱N I D ・ I S	1	㈱日立情報制御ソリューションズ	1	その他	3 (2)
㈱クオリサイトテクノロジー	1	㈱池貝	1	㈱日立システムバリュー	1		
㈱東和システム	1	㈱エヌデーデー	1	日立公共システムエンジニアリング㈱	1 (1)		
サイバーコム㈱	1 (1)	㈱コア	1	茨城日立情報サービス㈱	1		
㈱日立ケーイーシステムズ	1	㈱沢平	1	三菱電機エンジニアリング㈱	1		
㈱ショーワ	1	㈱ジェイテック	1	東芝プラントシステム㈱	1		
寺島薬局㈱	1	㈱東日本計算センター	1	東芝テック㈱	1		
長野県警察	1	㈱ミツワ	1	マリモ電子工業㈱	1		
その他	2	小森コーポレーション㈱	1	日本貨物鉄道㈱	1		
		日本データコム㈱	1	トピー工業㈱	1		
		ヤマトシステム開発㈱	1	高畑精工㈱	1		
		自営	1	シチズンホールディングス㈱	1		
		その他	1	ヤマザキマザック㈱	1		
				㈱日特エンジニアリング	1		
				㈱東陽テクニカ	1		
				㈱スミハツ	1		
計	51 (3)	計	38 (1)			計	34 (4)

() は、女子で内数

応用粒子線科学専攻

本専攻は理工学研究科の独立専攻であり、多様な学部や学科の出身者を入学対象としている。中性子線をはじめ、陽子線、 γ 線、電子線、X線、レーザー等を利用して、タンパク質などの生体物質、固体・液体・気体、プラズマ状態の物質の構造解析とその応用を中心とした教育と研究を行い、旧来の枠組みにとらわれない新しいタイプの研究者・技術者の養成を目指して2004年に発足した。量子基礎科学、構造生物学、中性子材料科学、エネルギー・リスク情報科学の基幹4分野と基礎原子力科学の連携分野で構成されている。

本年度の大学院修了予定者は20名で、12月1日の時点で博士課程進学予定者3名、就職内定者14名、進路未定者3名であった。求人票をいただいた企業数は、新しい専攻で知名度も低いことから他専攻に比べて少なかった(25社)。そのうち、担当者に訪問いただいた企業は9社であったが、担当者から専攻に関する質問を多数受け、具体的に行っている教育・研究内容や学生の専門性に関して詳細に説明した。次年度以降の求人票確保のため専攻の知名度を向上させる活動が必要である。

2010年1月7日に工学系(日立キャンパス)および理学系(水戸キャンパス)の学生に就職ガイダンスを実施した。その時に自分が本当にやりたいことをはっきりと認識している学生が少ないと感じた。企業は学生に対して、講義を通じて得られた基礎学力や研究活動で得られた専門知識に加えて、コミュニケーション能力、自己表現能力(プレゼンテーション)、問題解決能力などを求めている。ノウハウ本や面接訓練などの小手先の準備ではなく、自分がやりたいことの明確化とそれを実現するための企業選び、そして社会に出てから良い仕事ができるように総合的な人間性の質を高めていくことが必要である。

〔平成21年度卒業生の進路〕

《博士前期課程》

企業名及び進路先	人数	企業名及び進路先	人数
【応 用 粒 子 線 科 学 専 攻】			
茨城大学博士後期課程	1		
九州大学博士後期課程	1 (1)		
日立電線㈱	1		
住友金属工業㈱	1		
(財)日本繊維製品品質技術センター	1		
富士通フロンテック㈱	1		
㈱ナスカ	1 (1)		
㈱きもと	1		
㈱河村製作所	1		
㈱アルコ・イーエックス	1		
㈱NESI	1		
アイシン・エイ・ダブリュ㈱	1		
AE機器エンジニアリング㈱	1		
その他	1		
		計	14 (2)

() は、女子で内数

工学部学生サークル一覧 (平成22年度)

【体育系団体】

No.	サークル名	加入学生数	学生代表者氏名	顧問教員
1	サッカー部	20名	山下 雄大	塚元 康輔
2	硬式庭球部	8名	篠崎 政人	森 善一
3	野外活動愛好会	33名	力石 尚人	信岡 尚道
4	ボクシング部	4名	板垣 貴彦	田代 優
5	弓道部	4名	岩上 進也	車田 亮
6	アーチェリー部	4名	村上 大介	梶谷 修一
7	バドミントン部	7名	田代 一馬	太田 弘道
8	空手道部	9名	遠藤さち恵	村上 哲
9	少林寺拳法部	12名	南家 弘章	友田 陽
10	熱気球同好会	6名	坂井 拓也	祖田 直也
11	自動車部	16名	那須 亮太	道辻 洋平
12	自動二輪部	18名	高見 勇斗	前川 克廣
13	オリエンテーリング部	12名	島崎 拓也	出崎 善久
14	卓球部	6名	西貝 昌幸	伊藤 吾朗
15	漕艇部	6名	與儀 大貴	伊藤 吾朗
16	極真カラテ同好会	15名	結城 壮平	桑原 祐史
17	Ibaraki University Racing	15名	伊藤 真吾	西野創一郎
18	@マーク	27名	野々村和隆	尾嶌 裕隆
19	エコノパワー競技クラブ	16名	斎藤 泰輔	伊藤 伸英
20	アメリカンフットボール部	15名	小淵 孝徳	尾嶌 裕隆
21	日立スポーツ同好会	6名	橋内 雄司	鈴木 智也
22	ラン☆バラ	30名	小沼 広太	小野 高明
計22団体		289名		

【音楽系団体】

1	J A Z Z 研究会	11名	山田啓太郎	小柳 武和
2	もずコール	10名	関本 圭太	伊藤 吾朗
3	ファミレド市	26名	金指 原野	梶谷 修一
4	吹奏楽団	10名	近江 俊二	乾 正知
5	管弦楽団日立支部	17名	内田 直佑	山内 智
6	Folk Song Club	35名	中山 峻	矢内 浩文
7	Gen-on	23名	生熊 祐太	鶴殿 治彦
8	中南米音楽研究会	3名	浦口 達也	藤芳 明生
9	Gitarre!!	11名	長松 哲司	小柳 武和
計9団体		146名		

【文化系団体】

1	漫画研究会	20名	渡部 孝則	中村 真毅
2	赤十字奉仕団工学部分団	6名	里村 豊彦	増澤 徹
3	UNICS	45名	佐川 偲	田附 雄一
4	Anime&Comic Explorers	37名	正木 武志	赤羽 秀郎
5	日立航空技術研究会	18名	高橋 直也	友田 陽
6	中国留学生学生会	18名	趙 亮	湊 淳
7	ロボット技術研究会	28名	西部 達矢	森 善一
8	風力研究会	16名	鈴木慎太郎	稲垣 照美
9	科学団EXP	12名	猿ヶ澤正人	矢内 浩文
10	編入会	4名	望月 大樹	堀井 龍夫
11	ぶよぶよ研究会	5名	佐藤 允治	青野 友祐
12	鑄造クラブ	22名	堤 友浩	伊藤 伸英
13	小窓	6名	高橋 秀昇	小林 正典
14	茨城大学工学部競技歌留多 華月	11名	熊原 友里	城 道介
計14団体		248名		

平成22年度工学部就職ガイダンス一覧

前 期

期 日	対象学生	内 容	講 師 所 属	講 師 名
5月12日(水)	学部3年 院1年	理系進路説明会	㈱リクルート	柏野 誉予
5月19日(水)	院1年	「院1での取り組み方が将来を決める －院生に求められるもの－」	元凸版印刷㈱ 採用担当部長	清水 充
5月26日(水)	学部3年 院1年	『理系学生のための就職活動準備講座 ～いつ何をすべきか～』	㈱毎日コミュニ ケーションズ	松村 宏和
6月5日(土)	学部1年	「大学での勉学・人間形成が将来の進路を決める －学生時代の過ごし方－」	元凸版印刷㈱採用 担当部長	清水 充
6月9日(水)	学部3年 院1年	『《進学と就職に迷う3年生も必見!》 理系学生の進路&自己分析講座』	㈱毎日コミュニ ケーションズ	松村 宏和
6月16日(水)	学部3年 院1年	就職活動アドバイス 職務適性テスト：無料	㈱ディスコ	遠藤 淳二
6月23日(水)	学部3年 院1年	企業が学生をみる視点	㈱学情	東 修三
6月30日(水)	学部3年 院1年	「職務適性テスト」結果の配付と対策	㈱ディスコ	遠藤 淳二

後 期

期 日	対象学生	内 容	講 師 所 属	講 師 名
10月6日(水)	学部3年	適切な準備が良い結果を生む －事例によるアドバイス－	元凸版印刷㈱ 採用担当部長	清水 充
10月6日(水)	院1年	理系院生の就職活動の進め方 －事例によるアドバイス－	元凸版印刷㈱ 採用担当部長	清水 充
10月8日(金)	学部3年 院1年	就職の手引き活用法	㈱ディスコ	遠藤 淳二
10月13日(水)	学部3年 院1年	就職の手引き活用法(10月8日の内容と同じ)	㈱ディスコ	杉江 正之
10月15日(金)	学部3年 院1年	業界・職種研究の進め方	㈱学情	東 修三
10月20日(水)	学部3年 院1年	エントリーシート対策	㈱毎日コミュニ ケーションズ	松村 宏和
10月27日(水)	学部3年 院1年	SPI試験の説明会	㈱ジェイ・ブロー ード	川人 誠
10月29日(金)	学部3年 院1年	エントリーシート対策(10月20日の内容と同じ)	㈱毎日コミュニ ケーションズ	松村 宏和
11月4日(木)	学部3年 院1年	インターネット活用術 (就職活動での情報収集編)	㈱リクルート	柏野 誉予
11月6日(土)	学部3年 院1年	「リクナビLIVE合同企業説明会」バスツアー	㈱リクルート	
11月13日(土)	学部3年 院1年	「業界研究セミナー」バスツアー	㈱学研メディコン	
11月17日(水)	学部3年 院1年	「マイナビ就職EXPO」事前説明会(マナー講座)	㈱毎日コミュニ ケーションズ	松村 宏和
11月21日(日)	学部3年 院1年	「マイナビ就職EXPO」バスツアー	㈱毎日コミュニ ケーションズ	
11月24日(水)	学部3年 院1年	面接対策	㈱リクルート	柏野 誉予
11月25日(木)	学部3年 院1年	SPI試験(第1回) 有料	㈱ジェイ・ブロー ード	真田 英明
12月1日(水)	学部3年 院1年	SPI試験(第2回) 有料	㈱ジェイ・ブロー ード	堀川 文子
12月8日(水)	留学生	留学生のための就職ガイダンス (OB講演会を含む)	㈱ディスコ	遠藤 淳二
4月～3月	全学年	就職相談(毎週水曜日)	元凸版印刷㈱ 採用担当部長	清水 充

学生の成果を奨励するために「工学部学生表彰」を実施

学生の成果を奨励することを目的に、平成15年度から、工学部学生に対する「学生奨励制度」が発足しました。表彰条件は、次のとおりです。

1. 学術又は教育の分野において、際立った成果を挙げたと認められる者
2. 課外活動又はボランティア活動により、本学部又は地域社会に多大な貢献をしたと認められる者
3. その他、他の模範とするに足る行為があったと認められる者

※ 平成21年度は、研究発表会での優秀論文発表者や各種大会での成果が表彰されるなど学部学生5名、博士前期課程学生21名、博士後期課程学生3名、団体1団体が該当し、卒業式当日の3月24日(水)に工学部長から表彰状と記念盾が授与されました。

平成23年度工学部学年暦

事 項	工 学 部	学 生 関 係 行 事	事 項	工 学 部	学 生 関 係 行 事
学 年 開 始	4月1日(金)	○保護者説明会 4月6日(水)	後学期授業開始	10月3日(月)	○大学祭 ・茨苑祭(水戸地区) 11月中旬 ・こうがく祭(工学部) 6月上旬 ・鉾耕祭(農学部) 11月上旬
前学期授業開始	4月4日(月)	○履修ガイダンス等(2年次以上) 4月1日(金)	授 業 終 了	12月22日(木)	
入 学 式	4月6日(水)	○新入生オリエンテーション関係 ・履修ガイダンス	冬 季 休 業	12月23日(金) 1月5日(木)	
新入生授業開始	4月8日(金) (Bコース1年次)	4月6日(水)～8日(金) [工学部Bコースは、 4月6日(水)、7日(木)]	授 業 開 始	1月6日(金)	
創 立 記 念 日	5月31日(火) (授業実施)	・留学生全体ガイダンス 4月8日(金) ・新入生定期健康診断 (工学部Bコースを除く) 4月13日(水)～19(火)	休 講 (センター試験準備)	1月13日(金)	
前 学 期 試 験	7月26日(火) 8月8日(月) (7月29日を除く)	○定期健康診断 ・工学部(日立地区) 4月13日(水)～15日(金)	後 学 期 試 験	2月7日(火) 2月13日(月)	
前学期授業終了	8月8日(月)	○新歓祭 4月中旬	補 講	2月17日(金)	
夏 季 休 業	8月9日(火) 9月30日(金)	○体育祭 6月下旬	後学期授業終了	2月13日(月)	
			春 季 休 業	2月24日(金) 3月31日(土)	
			卒 業 式	3月23日(金)	
			学 年 終 了	3月31日(土)	